



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

定例セミナーNo.18: カンボジア王国における 特別支援教育の現状と 展望に関する講演会を 開催しました



活動日時 2019年3月28日(木)14:00-15:30

活動従事者 川合紀宗



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、学習空間ユニットのインクルーシブ研究クラスターに関連して、2019年3月28日(木)に第18回定例セミナーを開催しました。

今回は王立ブノンペン大学客員教授の間々田彦先生をお招きし、「カンボジア王国における特別支援教育の現状と展望」の題目でご講演いただきました。なお、本セミナーは広島大学大学院国際協力研究科 (IDEC) が主催し、EVRIが共催しました。

間々田先生からは、①カンボジアの教育制度の一般的な特徴、②カンボジアの特別支援教育の現状、③カンボジアの特別支援教育の歴史と課題、の3本柱で語っていただきました。間々田先生によると、「特別支援教育」という考え方が世界的潮流の中で、カンボジ

アは依然として「特殊教育」であり、合理的配慮への意識が低い状態だといえます。特別支援教育を担うスタッフは量的質的にも不足しており、教員養成でも特別支援教育に関する講義はほとんどありません。

特別支援教育の現状として、少数ながらも実践校は存在するものの、実態が不透明で、かつ質が極めて低いと評価されます。間々田先生は調査を通して実態把握を努めつつ研究者養成も進めており、今後は教育省と協力して学校教育と教員養成の改革を推進したいと決意を述べられました。

質疑応答では、参加した留学生からカンボジアの実情について質問がありました。間々田先生は黎明期のカンボジアのために世界の知見を教えてほしい、と未来を担う若手研究者に願いを伝えました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

